

病虫害発生予察注意報 第1号

病虫害名：マイマイガ

- 1 発生予想** マイマイガの幼虫発生が多く、今後、果樹、野菜など農作物への被害が増加し、公園、街路樹等への樹木への被害増加のおそれもある。
- 2 対象地域** 県下全域
- 3 根拠**
- (1) 平成 25 年は県内各地でマイマイガの発生が多く、越冬卵数も多かったため、本年の発生数が増加したと考えられる。
- (2) 病虫害防除所の5月上旬巡回調査において、東北信のりんご調査ほ場21地点中11地点、中南信のりんご調査ほ場11地点中6地点で幼虫の寄生が確認され、なし、ぶどう調査ほ場でも寄生が確認されている。また、果樹試験場の現地調査においても各地で発生が確認されている。

表1 5月上旬巡回調査時におけるマイマイガ幼虫発生数

樹種	調査地点	虫数/花そう数	樹種	調査地点	虫数/花そう数
りんご	長野市長沼	2/100	りんご	松本市梓川	1/300
	長野市豊野町蟹沢	3/100		松本市波田	1/300
	坂城町南日名	13/100		大町市常盤	2/300
	飯綱町高岡	6/100		箕輪町福与	2/300
	飯綱町赤塩	5/100		松川町上片桐	1/300
	中野市越	1/100		豊丘村神稲	1/300
	上田市山口	1/100		なし	中川村南向
ぶどう	坂城町南日名	1/100	なし	松川町大島	4/100

表2 マイマイガ幼虫の発生状況 (果樹試験場環境部調査5月9日)

樹種	調査地点	虫数/花そう数※	備考	樹種	調査地点	虫数/花そう数※	備考
りんご	長野市篠ノ井小松原	2/100		なし	長野市豊野町川谷	1/100	
	長野市篠ノ井岡田・新田	10/100		もも	須坂市井上	0/100	
	長野市豊野町川谷	10/100			小布施町押羽	0/100	
	須坂市井上	0/100		ぶどう	高山村松川	0/100	
	中野市米山	15/100	殺虫剤無散布	ハナモモ	高山村松川	0/100	無防除
	山之内町佐野	37/100		雑木	長野市篠ノ井岡田	14/2分間	公園内
	小布施町押羽	1/100			須坂市日滝	0/3分間	公園内
	高山村駒場	0/100		※虫数は生死の判定はしていない			
	飯綱町倉井	31/100		※ぶどうは芽あたり、ももは結果枝先端の花そうを調査			

- (3) 普及センター、JA担当者より街路樹、果樹、葉野菜類等で発生が確認されたとの情報が多く寄せられており、また地域農家や、市町村、住民からの問い合わせが多い状況である。



図1 マイマイガ 若齢幼虫



図2 マイマイガ 老熟幼虫



図3 マイマイガ 雌成虫

3 防除対策と留意点

- (1) マイマイガは年1回の発生である。卵の状態越冬し、一カ所に塊になって産み付けられる。4月中旬から孵化し、その後、若齢幼虫が風によって分散する。幼虫を発見した場合、その周辺にも幼虫がいることが多いので注意する。多発すると2～3年は発生が多くなる可能性がある。
- (2) 幼虫は様々な樹木や草本を食害する。農作物への被害としてはりんご、なし、もも、おうとう、ブルーベリーなどの果樹をはじめ、野菜、花きを食害する。樹木ではカラマツ、ヤナギ類、ナラ類、ツツジ類などの落葉樹を好む。
- (3) ふ化幼虫には毒毛があり、直接触れると炎症を起こすので、衣服についたときは直接つぶさず、ガムテープなどに貼り付けて除去する。幼虫を捕殺する場合は、ふ化幼虫でなくても毛が刺さる場合があるので、ビニール手袋をするか、火箸等で捕獲する。
- (4) 薬剤防除を行う場合は農薬取締法を遵守し、適用登録のある農薬を使用するほか、周辺環境等に配慮し、危被害防止のため薬剤の選択、散布、時間等に注意する。また、使用地域が指定されている農薬の使用にあたっては、病害虫防除所、農業改良普及センター、市町村、農業協同組合、農薬販売店へ照会し、必ず確認する。

(参考)

長野県病害虫防除ホームページ <http://www.pref.nagano.lg.jp/bojo/joho/noyaku/boujyokijyun/index.html>

環境省ホームページ(公園・街路樹等病害虫・雑草管理マニュアル)

http://www.env.go.jp/water/dojo/noyaku/hisan_risk/manuall_kanri.html

表3 りんごのケムシ類に対する主な防除薬剤と使用基準 (JPP - NET 平成26年5月1日現在)

薬剤名		IRACグループ	希釈倍率	使用時期	使用回数
有機リン系	ダズバンDF	1	3000倍	収穫14日前まで	2回以内
カーバメート系	オリオン水和剤40	1	1000倍	収穫前日まで	2回以内
ネオニコチノイド剤	ダントツ水溶剤	4	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
ジアミド剤	サムコルフロアブル10	28	2500～5000倍	収穫前日まで	3回以内
ジアミド剤	フェニックス顆粒水和剤	28	4000倍	収穫前日まで	2回以内
ジアミド剤	フェニックスフロアブル	28	4000～6000倍	収穫前日まで	2回以内
その他	ディアナWDG	5	5000～10000倍	収穫前日まで	2回以内

表4 なしのケムシ類に対する主な防除薬剤と使用基準 (JPP - NET 平成26年5月1日現在)

薬剤名		IRACグループ	希釈倍率	使用時期	使用回数
カーバメート剤	オリオン水和剤40	1	1000倍	収穫3日前まで	2回以内
BT水和剤(生菌)	ファイブスター顆粒水和剤	11	1000～2000倍	発生初期(但し、収穫前日まで)	-
ネオニコチノイド剤	スタークル顆粒水溶剤・アルノ	4	2000倍	収穫前日まで	3回以内
ネオニコチノイド剤	ダントツ水溶剤	4	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
ジアミド剤	サムコルフロアブル10	28	2500～5000倍	収穫前日まで	3回以内
ジアミド剤	フェニックス顆粒水和剤	28	4000倍	収穫前日まで	2回以内

長野県病害虫防除所
 小林文彦(所長) 吉沢しおり(担当)
 TEL: 026-248-6471(直通)
 FAX: 026-248-6473
 E-mail bojo@pref.nagano.lg.jp